


Shirakawa Kosei General Hospital

平成23年度  
**初期臨床研修医  
募集要綱**



 福島県厚生農業協同組合連合会

**白河厚生総合病院**

## 私たちは

1

医療、保健、福祉事業を通して地域住民の健康を守り、豊かな暮らしに貢献します。

2

県南の中核病院として関係機関との連携を深め、地域医療の向上に努めます。

3

患者さんを全人的に理解し、優しさと思いやりをもって接します。

4

十分に説明をし、患者さんの意思を尊重した医療を実践します。

5

使命を自覚し、たゆまず研鑽を積んで医療の質の向上と人材の育成に努めます。

## 施設の概要

(1) 病床数 471床

内 訳	一 般	455床 (人間ドック8床を含む)
	結 核	12床
	感 染	4床

(2) 診 療 科

第一内科 (消化器、糖尿病) 第二内科 (循環器、血液) 第三内科 (腎、代謝内分泌)  
呼吸器科 小児科 精神科 心療内科 外科 整形外科 脳神経外科  
産婦人科 眼 科 耳鼻咽喉科 皮膚科 泌尿器科 放射線科 麻酔科  
心臓血管外科 神経内科 リハビリテーション科 病理診断科

(3) 各種指定・基準認可の状況

保健医療機関、労災、生活保護法、被爆者一般疾病、自立支援 (更正・育成・精神通院)  
身体障害者福祉法、養育医療、結核予防法、救急告示病院、新生児医療病院、エイズ診  
療拠点病院、地域災害医療センター (災害拠点病院) 病院群輪番制病院

一般病棟7対1入院基本料、結核病棟7対1入院基本料

特定集中治療室管理料、小児科入院医療管理料3、臨床研修病院入院診療加算 (管理型)  
超急性期脳卒中加算、妊産婦緊急搬送入院加算、診療録管理体制加算、重症者等療養環  
境特別加算、栄養管理実施加算、医療安全対策加算、褥瘡患者管理加算、褥瘡ハイリス  
ク患者ケア加算、ハイリスク妊娠管理加算、ハイリスク分娩管理加算、退院調整加算、  
後期高齢者退院調整加算、ウイルス疾患指導料、糖尿病合併症管理料、地域連携小児夜  
間・休日診療料1、ニコチン依存症管理料、ハイリスク妊産婦共同管理料 (1) 薬剤管  
理指導料、医療機器安全管理料1、医療機器安全管理料2、検体検査管理加算 ( ) 心  
臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算、コンタクトレンズ検査料、小児  
食物アレルギー負荷検査、画像診断管理加算1、ポジトロン断層撮影又はポジトロン断  
層・コンピューター断層複合撮影、CT撮影及びMRI撮影、冠動脈CT撮影加算、心臓  
MRI撮影加算、外来化学療法加算1、無菌製剤処理料、心大血管疾患リハビリテーシ  
ョン料 ( ) 脳血管疾患リハビリテーション料 ( ) 運動器リハビリテーション料 ( )  
呼吸器リハビリテーション料 ( ) 集団コミュニケーション療法料、ペースメーカー  
移植術及びペースメーカー交換術、大動脈バルーンパンピング法 (LABP法)、体外衝  
撃波腎・尿管結石破碎術、麻酔管理料、放射線治療専任加算、外来放射線治療加算、高  
エネルギー放射線治療



## (4) 職 員

(平成21年12月1日現在)

医 師	61名	理 学 療 法 士	11名
薬 剤 師	11名	柔 道 整 復 士	0名
放 射 線 技 師	22名	言 語 聴 覚 士	4名
臨 床 検 査 技 師	26名	看 護 師 ( 准 看 護 師 含 む )	360名
臨 床 工 学 技 士	12名	管 理 栄 養 士	4名
視 能 訓 練 士	2名	そ の 他	171名

## (5) 非常勤医師

第 一 内 科 ( 消 化 器 )	東 北 大 学	1回/週
( 糖 尿 病 )	東 北 大 学	1回/週
第 三 内 科 ( 腎、内 分 泌 )	福 島 県 立 医 科 大 学	2回/週
呼 吸 器 科	福 島 県 立 医 科 大 学	2回/週
小 児 科	福 島 県 立 医 科 大 学	3回/週
整 形 外 科	福 島 県 立 医 科 大 学	2回/月
脳 神 經 外 科	東 北 大 学	1回/月
産 婦 人 科	東 北 大 学	2回/週
眼 科	福 島 県 立 医 科 大 学	2回/月
耳 鼻 咽 喉 科	福 島 県 立 医 科 大 学	1回/週
放 射 線 科	福 島 県 立 医 科 大 学	1回/週
心 臓 血 管 外 科	福 島 県 立 医 科 大 学	1回/週
神 經 内 科	福 島 県 立 医 科 大 学	1回/週

## (6) 研修医実績

	一内	二内	三内	小児	外科	産婦	麻酔	放射	泌尿器科	ロ-テ-ター	合計
平成14年度	2			2	4	1		1			10
平成15年度	1				2			1			4
平成16年度					1					7	8
平成17年度										9	9
平成18年度	2	1								8	11
平成19年度					1					10	11
平成20年度	2				1					10	13
平成21年度	1				1			1	1	10	14

## (7) 平成20年度利用人員

外 来 利 用 人 員	1 日 平 均	858人
入 院 利 用 人 員	1 日 平 均	348人
救 急 外 来 患 者 数	1 日 平 均	35.8人
救 急 車 搬 送 患 者 数	1 日 平 均	6.9人

## (8) 蔵 書

全 蔵 書 ( 洋 ・ 和 書 )	6,242冊
専 門 雑 誌 ( 洋 書 )	24種
専 門 雑 誌 ( 和 書 )	43種
医 学 中 央 W e b	使用可
文 献 複 写 依 頼	有

## 第一内科

### 診療内容

#### 消化器疾患中心

平成20年4月より2名の医師が増員になり、より専門性を追求した消化器疾患の治療が可能になりました。特に早期胃癌、胆膵疾患に対する内視鏡的治療は症例数も増加し初期研修医も第一、第二助手として十分に治療へ参加できます。肝疾患でもC型慢性肝炎の抗ウイルス療法、肝癌の局所療法、カテーテル治療を核として専門領域の研修が可能です。指導体制が充実した中、初期研修では消化器疾患の救急対応、画像診断（特に腹部エコーの実践指導）などプライマリー医療に即した内容の濃い研修ができるように心がけています。

### 診療実績

消化器内視鏡検査	(平成19年実績)	(平成20年実績)
上部内視鏡	4,402件	5,348件
下部内視鏡	965件	1,322件
上下部消化器内視鏡治療	286件	274件
胆・膵内視鏡治療	76件	114件
超音波内視鏡	23件	60件
ラジオ波治療+エタノール局注治療法	38件	56件
超音波検査(エコー)	5,463件	4,000件

(検診含まず)

## 第二内科

### 診療内容

第二内科は、主に循環器・血液疾患の患者さんを対象にしています。

心臓病は狭心症・急性心筋梗塞や急性心不全など昼夜問わず発症することが多く、休日・祭日も含め24時間体制で待機しており、必要に応じ、緊急冠動脈造影検査、冠インターベンションを行い、その後CCU管理しています。研修の先生も緊急検査に積極的に参加し、救急室での診断・処置から入院後の管理に携わってもらっています。また、徐脈性不整脈の治療としてペースメーカー植え込み、頻脈性不整脈の治療としてのカテーテルアブレーションも行っており、プライマリーケアから高度な治療まで幅広く経験できます。

血液疾患に関しては、常勤医2人で白血病や悪性リンパ腫の診断・治療をしています。血液疾患の基礎から学ぶことができます。

## 循環器

[診断]心臓カテーテル検査、冠動脈造影、血管内超音波検査、心筋生検、電気生理検査、心臓核医学検査、ホルター心電図、運動負荷試験、心臓超音波検査

[治療]急性心筋梗塞・狭心症に対する冠動脈カテーテル治療、永久ペースメーカー植え込み、カテーテルアブレーション、CCU

## 血液

貧血、白血病、リンパ腫など：無菌室治療

## 診療実績

	(平成19年実績)	(平成20年実績)
心臓カテーテル検査	340件	377件
冠動脈形成術(PCI)	131件	128件
ペースメーカー植え込み	37件	39件
心筋梗塞治療	44件	48件

## 第三内科

### 診療内容

腎臓疾患、内分泌・代謝疾患

## 呼吸器科

### 診療内容

呼吸器内科：肺炎、気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫、肺腫瘍など呼吸器疾患全般を診療しています。在宅酸素療法、結核治療、気管支内視鏡検査、CTガイド下肺生検(放射線科と連携)も行っております。

呼吸器外科：肺、縦隔、胸壁、横隔膜などの良性腫瘍、悪性腫瘍に対しての外科的治療を行います。その他、自然気胸などの嚢胞性肺疾患、膿胸などの炎症性疾患に対しても手術を行っています。胸腔鏡下手術も併用しています。

## 小児科

### 診療内容

小児内科疾患全般を診療しています。一般外来、慢性疾患外来（低出生体重児、気管支喘息、内分泌・代謝疾患、腎、血液疾患、てんかん、など）のほかに、予防接種や乳幼児健診を行っています。また、小児救急疾患も、他科と連携し24時間オンコール体制で急患室をバックアップしています。入院患児の診療は、低出生体重児や新生児も含め、日常よくみられる疾患から、循環呼吸管理を要する重症疾患まで幅広く行っています。また、すべての入院患児についてイブニングカンファランスを行い、診療内容を検討しています。

当科は病診連携のもと、地域の1次医療機関から多くの小児を受け入れています。また、福島県立医科大学医学部小児科の関連施設であり、高度専門医療についてコンサルテーション等の相互協力のほか、国立病院機構福島病院小児科NICU、福島県総合療育センター小児科（小児神経）とも密接に連携し、より質の高い小児医療を提供するよう努力しています。

### 診療実績

	（平成19年実績）	（平成20年実績）
外来受診数	18,609名	19,000名
入院数	1,177名	906名
（うち未熟児・新生児）	56名	59名

## 外科

### 診療内容

白河厚生総合病院外科は、日本外科学会外科専門医制度修練施設（指定施設）、日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設、日本乳癌学会関連施設に認定されています。

主な診療対象は、食道・胃十二指腸・小腸・大腸の消化管疾患、肝・胆・膵・脾の腹部実質臓器疾患、肛門疾患・乳腺・甲状腺疾患、ヘルニア・体表腫瘍・外傷などの一般外来です。

#### （1）消化器外科疾患

食道・胃十二指腸・小腸・大腸の消化管および肝・胆・膵・脾の腹部実質臓器について悪性および良性疾患の診療を行っています。患者さんのQOL(生活の質)を重視し腹腔鏡下胆嚢摘出術や大腸切除術を行っているほか、経肛門的内視鏡下マイクロサージャリー（TEM）など最新の治療を導入しています。また炎症性腸疾患などの特殊疾患の診療や難度の高い手術に際しては東北大学胃腸外科・肝胆膵外科の協力を必要に応じて随時頂きながら対応して

います。

手術以外の治療については、悪性疾患に対する化学療法および放射線療法を併用した集学的治療、PTCD・胆道ステントなどの治療も行っています。

進行再発癌の患者さんに対しては、日帰り化学療法や在宅中心静脈栄養療法などQOLを重視した治療を行っています。

## (2) 肛門疾患

痔核・痔瘻などの肛門疾患の診療を行っています。

## (3) 乳腺・甲状腺疾患

乳腺疾患に対しては、乳房撮影装置・超音波検査装置のほかに乳管内視鏡やマンモトーム（乳腺吸引生検装置）などを備え、さらにCT、MRIを用いた診断も可能です。その他シンチグラフィやライナックを備え、乳癌を主とした乳腺疾患について当院で診断から治療まで一貫して行うことが可能です。患者さんのQOLを重視して乳房温存手術も積極的に行っており、良好な成績が得られております。乳癌手術後は病期に応じて国際的に推奨されている治療方針にしたがって化学・内分泌療法を行っています。進行再発癌の患者さんに対しては個々の症例に対応して種々の抗悪性腫瘍剤を併用した積極的な治療を行っています。

甲状腺疾患は、超音波検査・CT・シンチなどによる診断および手術を行っています。

## (4) その他

鼠径部のヘルニア手術、体表腫瘍などの小外科手術を行っています。

### 診療実績年間手術症例数

	(2007.1～2007.12)	(2008.1～2008.12)
全手術症例数	591例	625例
全身麻酔	388例	403例
腰椎麻酔	80例	96例
手術の内訳		
消化器手術	228例	278例
胃手術	54例	68例
大腸手術	72例	76例
胆道手術	71例	80例
食道・膵・肝その他	31例	54例
(消化器手術のうち腹腔鏡手術)	84例	96例
乳腺手術	28例	40例
虫垂手術	77例	58例
ヘルニア	88例	108例
肛門手術	17例	44例
その他		

## 整形外科

### 診療内容

外傷、骨、関節、筋、腱、神経（運動器官）疾患の治療

### 診療実績

	（平成19年実績）	（平成20年実績）
年間手術	486件	546件

### 初期臨床研修実績（選択分）

（平成19年実績）	1名 終了後福島医大整形外科にて後期臨床研修中
（平成21年実績）	1名 研修中

### 初期臨床研修実績（必修分）

外科系3か月のうち1か月は整形外科で実習

## 脳神経外科

### (1) 診療内容

脳神経外科は、脳血管障害・頭部外傷を扱う「救急」の科です。急患室をバックアップし、入院の必要な救急の患者さんに備えております。

また診療において当科の母体である東北大学脳神経外科関連施設を始め、他施設との連携の中で、患者さんにとっての最良の治療を選択しております。

お困りのことがあれば御相談ください。

### (2) 対象疾患等

1. 脳血管障害（くも膜下出血、脳動脈瘤、脳内出血、脳梗塞、モヤモヤ病）
2. 脳腫瘍・脊髄腫瘍
3. 頭部外傷
4. 機能的脳神経外科（片側顔面痙攣・三叉神経痛）
5. その他の治療 大学関連施設との連携で治療しております。
  - ・ -knife 治療
  - ・ てんかん外科 難治性てんかんへの治療

## 産婦人科

### 診療内容

正常妊娠及びハイリスク妊娠の管理

不妊症

生殖免疫

悪性腫瘍を含む婦人科疾患全般

### 診療実績

	（平成19年実績）	（平成20年実績）
分娩件数	552件	657件
手術件数	229件（帝王切開術を含む）	275件（帝王切開術を含む）

## 眼 科

### 診療内容

一般眼科診療に加え、網膜硝子体と斜視・眼窩の特殊外来あり

### 手 術

白内障手術を中心に、緑内障手術（トラベクレクトミー、トラベクロトミー）、網膜硝子体手術、斜視手術、涙嚢鼻腔吻合術など

## 耳鼻咽喉科

### 診療内容

耳鼻咽喉科疾患全般：めまい、難聴、鼻アレルギー、慢性副鼻腔炎、咽喉頭炎、頭頸部腫瘍など

## 皮 膚 科

### 診療内容

皮膚疾患一般：アトピー性皮膚炎、アレルギー性皮膚炎、中毒疹、薬疹、皮膚真菌症、皮膚科領域感染症、膠原病、褥瘡、皮膚腫瘍など

## 泌尿器科

### 診療内容

尿路(腎臓、尿管、膀胱)、男性生殖器(前立腺、精巣、尿道)の疾患を診療します。

排尿障害（排尿困難、尿失禁）、尿路結石、尿路悪性腫瘍、腎不全の血液浄化（血液透析、腹膜透析）等を治療しています。

## 放射線科

### 診療内容

当院では、放射線科医が3名常勤しています。放射線科外来では、主に放射線治療を受けている患者さん、過去に治療を受けた患者さんの診察や放射線科で撮像した画像の診断、放射線治療の計画などを行っています。

さらに放射線専門医が常駐して画像診断と放射線治療を一貫して行っていることが当科の特徴です。高精度の画像診断、放射線治療とともに病棟管理も行い、きめ細かな医療を提供します。

### 診療実績

	(平成19年実績)	(平成20年実績)
放射線治療の年間新規登録数	116例	139例
[内訳]		
脳、脊髄腫瘍	2例	2例
頭頸部腫瘍	5例	6例
食道癌	13例	15例
肺癌、気管、縦隔腫瘍	26例	50例
乳癌	22例	32例
肝、胆、膵癌	1例	6例
胃、小腸、結腸、直腸癌	21例	7例
泌尿器系腫瘍	16例	10例
造血器リンパ系腫瘍	1例	5例
皮膚、骨、軟部腫瘍	1例	1例
子宮	2例	3例
その他の女性器	1例	
悪性リンパ腫	4例	
原発不明	1例	2例

## 麻 醉 科

### 診療内容

麻酔科管理の手術麻酔に対する術前診察及び周術期管理  
ペインクリニック

### 診療実績

	(平成19年実績)	(平成20年実績)
麻酔科管理麻酔件数	1,289件	1,359件

## 精 神 科

## 心療内科

### 診療内容

心身症、自律神経失調症などの心療内科と精神科疾患の外来治療

## 神経内科

### 診療内容

神経変性疾患、パーキンソン、脳・髄膜炎、痴呆、脳血管障害など

## 心臓血管外科

### 診療内容

心臓および血管疾患の診断・手術適応決定、下肢静脈瘤手術

## 病理診断科

病理部門は中央検査科に含まれ、常勤病理医（病理専門医、細胞診専門医）が組織診、細胞診、術中迅速、病理解剖などの一般病理業務を行っています。特に、診断の困難な症例や疑問のある症例については臨床医、研修医、検査技師などのコメディカルの方々と話し合いをし、診断業務にあたっています。さらに、下記の症例検討会に重点を置き、更なる診断および治療の向上を目指しています。

- (1) 病理解剖した症例は病理診断後（2～3ヶ月後）、臨床担当医や他の医師、研修医、看護師、検査技師などのコメディカル、看護学生も含めてCPCが開催され、臓器を提示して問題点を検討します。さらに、臨床指導医および病理指導医の指導のもと研修医がCPCレポートを作成しています。
- (2) 術後症例の検討は消化器疾患は毎週、乳腺疾患は毎月1回、臨床医や研修医と行なっています。
- (3) 平成19年度から初期研修医が病理部門を選択してくれていますが、病理診断の課程を理解するとともに多くの症例を顕鏡してもらっています。また、興味ある症例の病理組織の検鏡を希望する先生には顕微鏡を提供し、疑問点についても指導し、必要に応じて幅広く対応しています。

### 検体実績

	組織診	細胞診	迅速診断	病理解剖
2007年	2,445	3,952	42	6
2008年	3,016	4,472	45	9
2009年 (12月末)	3,500	4,800	45	6

# 白河厚生総合病院初期臨床研修プログラム

## プログラムの名称

福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院初期臨床研修プログラム

## プログラムの目的と特徴

研修を通して初期臨床研修（厚生労働省）到達目標の習得と心技両面において各科領域にわたる優秀な臨床医育成を目的とし、当院の診療内容の特性による豊富なプライマリケアの修練を特徴とする。

## プログラム指導者と施設概要

### 1. プログラム責任者

福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院 第二内科部長 斎藤富善

### 2. 参加病院

福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院を基幹病院とし、塙厚生病院、及び県立矢吹病院（精神科）を協力病院とする。また地域保健・医療の研修は県南保健福祉事務所、福島県赤十字血液センター、坂下厚生総合病院、高田厚生病院、鹿島厚生病院、双葉厚生病院、併設の健診センター、訪問看護ステーションおよび在宅介護支援センターにて行う。

### (1) 管理型病院 福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院

所在地 福島県白河市豊地上弥次郎2番地1

開設 昭和23年8月14日

開設者 福島県厚生農業協同組合連合会 代表理事 理事長 大木 哲

管理者 福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院 院長 前原和平

建物規模 鉄筋コンクリート地上8階 地下1階 38,900㎡

診療科目 第一内科(消化器、糖尿病) 第二内科(循環器) 第三内科(腎、代謝内分泌)

呼吸器科 小児科 精神科 心療内科 神経内科 外科 整形外科

脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科

皮膚科 泌尿器科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科 病理診断科

患者数（平成21年11月末実績）医師数（平成21年12月1日現在、免許取得後2年以上の常勤者）

	第一内科	第二内科	第三内科	呼吸器科	小児科	精神科	外科	整形外科	脳神経外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	放射線科	麻酔科	I C U	心臓血管外科	神経内科	病理診断科	合計
医師数	8	7		2	4		7	4	2	3	2	1	1	3	4	2				1	51
内指導医数	7	5		2	2		6	3	2	3	1	1	1	1	2	2				1	39
病床数	52 <sub>1</sub>	50	20	41 <sub>2</sub>	36		46	52	52	36	10	24	6	26 <sub>3</sub>	5	5	10				471
一日平均入院患者数	56	42		39	19		41	49	25	31	6	11	5	20	3						347
一日平均外来患者数	144	95	11	44	63	13	43	94	23	65	49	41	37	85	13	11		3	5		839

1 感染症病床含む

2 放射線科・麻酔科・結核の病床含む

3 皮膚科含む

職員数 663名(平成21年12月1日現在)

病床数 471床

認定医・専門医教育施設

日本内科学会認定教育施設・教育関連病院 日本循環器学会循環器専門医研修施設

日本呼吸器内視鏡学会専門医関連認定施設 日本外科学会外科専門医制度指定修練施設

日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設

日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士実地修練認定教育施設

日本整形外科学会認定医・専門医研修施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設 日本乳癌学会認定医・専門医関連施設

日本脳神経外科学会専門医訓練施設 日本皮膚科学会認定専門医研修施設

日本皮膚科学会教育研修施設 日本眼科学会専門医制度研修施設

日本麻酔科学会専門医認定病院(指導病院) 日本医学放射線学会専門医修練協力機関

日本病理学会専門医研修登録施設 日本臨床細胞学会細胞診専門医研修認定施設

福島県医師会母体保護法指定医師研修病院

## (2) 協力病院

福島県立矢吹病院

ア.所在地 福島県西白河郡矢吹町滝八幡100

イ.開設 昭和30年11月1日

ウ.開設者 福島県病院事業管理者

エ.管理者 院長 横山 昇

オ.建物規模 13,680㎡

カ.診療科目 精神科 内科 歯科

キ.患者数(平成21年10月末実績) 医師数(平成21年11月1日現在、免許取得後2年以上の常勤者)

	医師数	内指導 医数	病床数	一日平均 入院患者数	一日平均 外来患者数
精神科	5	5	206	145.5	56.7

ク.職員数 133名(平成21年11月1日現在)

ケ.病床数 206床

コ.認定医・専門医教育施設

塙厚生病院

ア.所在地 福島県東白河郡塙町大字塙字大町1番地5

イ.開設 昭和23年8月14日

ウ.開設者 福島県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 大木 哲

エ.管理者 福島県厚生農業協同組合連合会 塙厚生病院長 佐川恵一

オ.建物規模 13,827㎡

カ.診療科目 内科 心療内科 精神科 神経科 消化器科 循環器科 アレルギー科

リウマチ科 小児科 外科 整形外科 皮膚科 泌尿器科

産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科

神経内科 脳神経外科 こう門科

キ．患者数（平成21年10月末実績）医師数（平成21年11月1日現在、免許取得後2年以上の常勤者）

	医師数	内指導 医数	病床数	一日平均 入院患者数	一日平均 外来患者数
内科	4	3	89	69	166
小児科	1	1	16	4	40
精神科	2	1	124	98	51
合計	7	6	229	171	257

ク．職員数 328名（平成21年12月1日現在）

ケ．病床数 303床

(3) 研修協力施設

県南保健福祉事務所

ア．所在地 福島県白河市字郭内127

イ．開設者 福島県知事

ウ．管理者 所長 遠藤幸男

福島県赤十字血液センター

ア．所在地 福島県福島市永井川字北原田17

イ．開設者 福島県知事

ウ．管理者 所長 金子元久

特別養護老人ホーム 寿光園

ア．所在地 福島県西白河郡矢吹町滝八幡159番地2

イ．開設者 社会福祉法人 恵愛福社会理事長 会田征彦

ウ．管理者 園長 池ヶ谷眞一

坂下厚生総合病院

ア．所在地 福島県河沼郡会津坂下町字逆水50

イ．開設者 福島県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 大木 哲

ウ．管理者 福島県厚生農業協同組合連合会 坂下厚生総合病院長 松井遵一郎

高田厚生病院

ア．所在地 福島県大沼郡会津美里町字高田甲2981

イ．開設者 福島県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 大木 哲

ウ．管理者 福島県厚生農業協同組合連合会 高田厚生病院長 上野修一

鹿島厚生病院

ア．所在地 福島県南相馬市鹿島区横手字川原2

イ．開設者 福島県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 大木 哲

ウ．管理者 福島県厚生農業協同組合連合会 鹿島厚生病院長 後藤光弘

双葉厚生病院

ア．所在地 福島県双葉郡双葉町大字新山字久保前100

イ．開設者 福島県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 大木 哲

ウ．管理者 福島県厚生農業協同組合連合会 双葉厚生病院長 重富秀一

### 3. 指導責任者及び指導医名

診療科	職名	氏名	学会認定医・指導医	指導医名
第一内科	副院長兼部長	岡野 健	日本内科学会認定医 日本消化器内視鏡学会専門医 人間ドック認定医	岡本 裕正 高須 充子 山岸 初志 木村 洋 高木 康彦 中込 悠
第二内科	部長	齋藤 富善	日本内科学会指導医・認定医 日本循環器学会専門医	三田 正行 中村 研一 齋藤 恒儀 泉田 次郎 上岡 正志
呼吸器科	副部長	緑川 淳	日本内科学会認定医 日本呼吸器病学会専門医	長谷川剛生
小児科	科長	根本 健二	日本小児科学会専門医	村井 弘通
外科	副院長	黒田 房邦	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会認定医・指導医 日本乳癌学会認定医 東北大学第一外科臨床准教授	小林 信之 土井 孝志 竹村 真一 長谷川康弘 中村 啓之
整形外科	部長	鈴木 幹夫	日本整形外科学会専門医 日本医学会専門医 日本医師会専門医 専門医認定制協議会専門医	茂呂 貴知 加藤 欽志
皮膚科	部長	竹之下秀雄	日本皮膚科学会専門医 福島県立医科大学臨床教授	
泌尿器科	副部長	喜屋武 淳	日本泌尿器科学会専門医・指導医 超音波医学会専門医	
産婦人科	副院長兼部長	山内 隆治	日本産婦人科学会専門医 日本産婦人科医会指定医 福島県医師会母体保護法指定医師	清水 孝郎 中村 聡一
眼科	副部長	荒木 聡	日本眼科学会専門医	
耳鼻咽喉科	科長	石川 浩男	日本耳鼻咽喉科学会専門医	
脳神経外科	部長	永山 徹	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医	関 慎太郎
放射線科	部長	浦部 真平	日本医学放射線学会専門医 日本核医学会専門医 PET核医学診断医	本荘 浩
麻酔科	部長	岡崎美智弥	日本麻酔科学会指導医	埜口 千里
病理診断科	部長	野沢 佳弘	日本病理学会専門医・指導医 日本臨床細胞学会専門医	

## プログラムの管理運営体制

研修プログラムの管理運営は、毎月卒後臨床研修委員会委員が集まり、研修の評価を行い、この結果に基づいて研修プログラムの作成、研修医の配置、研修内容の評価等を行う。

この卒後臨床研修委員会で承認された臨床研修プログラム及びその他の事項は、医局会において伝達され、各科指導医にも伝達される。

そのプログラムの内容は小冊子として研修医にも配付される。

## 定 員

6名

## 教育課程

### 1. 研修意義と目標

研修医の専門分化が急速に進んでいる中であっても、医師として今後目指す専門分野の修練以前に、より幅広く臨床科目を研修し、それらの基礎知識、技能を身につけることが、将来の高度な専門医となるために、さらに第一線の臨床医として重要且つ不可欠な素養となるものである。

このため、研修医は研修期間中に初期臨床（厚生労働省）研修到達目標を習得することを第一の目標として、ローテート診療科においては、その科の基本的精神・知識・技術等を学び取る。

幅広く臨床研修を行い、これまでに経験し学んだ基礎知識・技術・態度を体系化する。  
患者のもつ問題点を正しく把握するため、患者に関する情報を的確に収集し、解決のための計画を立案実行する能力を身につける。

医師として、患者の全体像を捉える能力を修得し、全人的医療を身につける。

看護師・薬剤師・各種技師などの医療スタッフの業務をよく知ることにより、チーム医療の実践を学ぶ。

医師として必修な各科にわたる基本的診断、検査、治療の知識・技能を習得するとともに、保険、医療制度、福祉関係などを正しく理解し、それに適合した医療を行うことを学ぶ。

## 2. 研修内容

科 目	研 修 到 達 目 標
内 科 第 一 内 科 第 二 内 科 第 三 内 科 呼 吸 器 科	<p>内科9分野（消化器、循環器、内分泌・代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー・膠原病、感染症）にわたり基本的診断能力を身につけ、患者さんの問題を総合的にとらえて解決する能力を養う。さらに医療スタッフおよび患者さんとの信頼関係を築き、客観的に情報を収集し、適切な医療を提供できる能力を養う。具体的には、単純X線写真、血管撮影、CT、MRI、心電図などの読影、血液生化学検査データの解釈を修得し、内視鏡、エコー、X線透視、骨髄穿刺、運動負荷試験、肺機能検査などを理解し経験する。薬物治療のみならず、運動療法、食事療法を含む生活指導につき習得する。</p>
小 児 科	<p>新生児（NICU）及び一般小児内科病棟において、小児の発育、発達及び各種疾病に対するオリエンテーションを受け、病歴作成、診察、治療及び救急処置を修得する。小児医療に必要な採血、採尿、静脈、腰椎穿刺などを経験する。</p>
外 科	<p>一般外科、消化器外科、乳腺・甲状腺・内分泌外科診断および治療に必要な基本的知識と技術を修得する。リンパ節、乳腺生検、体表良性腫瘍摘出、虫垂切除、胆嚢摘出などは上級医師の指導の下に手術に必要な技術を修得する。術後管理、及び治療法の選択に関する説明と同意に関して習熟する。加えて、1カ月間外傷を中心とした研修を整形外科にて行なう。</p>
産 婦 人 科	<p>産科では妊娠、分娩の神秘を科学する心を養い、命をみつめる心を養う。産科救急の特殊性、及び産科医療の限界を理解する。不妊治療における生殖医学の展望とその限界について学ぶとともに新生児における胎外生存への適応過程を理解する。婦人科では、手術医としての婦人科医のあり方を学ぶ。視診、触診、膣・直腸診を修得し妊娠を診断できるようにする。超音波検査、子宮頸部細胞診などの実施と結果の評価を行う。</p>
精 神 科	<p>精神疾患の症状とそのとらえ方、薬物療法、精神療法、生活療法の概要及び精神保健福祉法の意義など精神科医療の基本を修得する。</p>
麻 酔 科	<p>術前診察により、患者の全身状態を把握し、リスクを評価したうえで、患者に適した麻酔法を選択できるようにする。具体的には救急医療に必要な気道の確保、人工呼吸、血管の確保、心肺蘇生法、モニターの選択法と実施法を学ぶ。成人の全身麻酔、重篤でない緊急麻酔法を修得する。</p>
救 急 医 療	<p>各種救急疾患に対応できる診察能力、簡単な救急処置法の修得（PTEC・JATECの理解）。簡単な検査により、発熱、頭痛、胸痛、腹痛、嘔吐などを鑑別診断する能力の取得。BLS・ACLSの受講。各種ショックの診断と治療法の修得。</p>
地域保健・医療	<p>衛生機関としての保健福祉事務所の機能と役割を理解し、患者を疾病を抱えつつ地域で生活する住民として捕らえる視点を涵養する。さらに結核、難病、精神障害患者に関する業務、及び患者をとりまく生活環境の調査法、医療福祉機関が提供する諸制度等を理解する。</p> <p>地域保健、健康増進活動、献血及び在宅医療業務の理解と実践。在宅医療に参加し、その意義と実際につき理解する。</p>

### 3. 期間割

原則として1年次の内科6か月と麻酔科2か月及び救急1か月、外科・産婦人科2か月、小児科1か月、2年次の地域医療1か月、精神科・地域保健1か月は必修科目とし、残り10か月を希望科とする。ローテートする順序に関しては研修医ごとに異なる。

1年次	内科系 6か月		麻酔科 2か月	救急 (整形外科) 1か月	外科 産婦人科 2か月	小児科 1か月
2年次	地域医療 1か月	精神科 地域保健 1か月	希望科 10か月			

救急の研修について、救急外来を優先した形の整形外科の研修1か月を1年次に必須科目とし、さらに上記のローテートに加え、各科の研修と平行して、救急外来における日当直という形で2か月分の救急の研修を行うことで、合計3か月の救急の研修を行う。

外科・産婦人科の2か月は外科1.5か月（6週）、産婦人科0.5か月（2週）の研修を行い、精神科・地域保健の1か月は精神科0.75か月（3週）、地域保健0.25か月（1週）の研修を行う。

地域医療については、塙厚生病院、坂下厚生総合病院、高田厚生病院、鹿島厚生病院、双葉厚生病院を選択できる。

地域保健については、福島県県南保健福祉事務所、福島県赤十字血液センター、恵愛福祉会特別養護老人ホーム寿光園、農村健診センター、在宅介護支援センターおよび訪問看護ステーションを選択できる。

### 4. 教育に関する行事

研修医症例検討発表会	1回 / 3か月
CPC（病理解剖症例検討会）	1回 / 2か月
クリティカルパス発表会	3回 / 年
救急マニュアル研修会	8回 / 年
救急医療症例検討会	1回 / 2か月
NST（栄養）勉強会	1回 / 2か月
各科症例検討会、カンファランス等	1回 / 週
英文抄読会	1回 / 月
ベッドサイドレクチャー	3回 / 年

### 5. 指導体制

指導責任者のもと教育を行う。内容によっては、複数による指導、マンツーマンによる指導を行う。

指導責任者が不在となるときは、上級医により研修指導を行う。

### 6. 当直

平均して月3回の当直を行う。1年次は副直として行う。

#### 研修医評価

各科指導医が規定の評価表に基づき評価する。

研修医は、厚生労働省初期臨床研修到達目標及び各科研修目標につき自己評価する。

なお、研修評価には「EPOC (エポック) オンライン研修評価システム」を併せ使用する。

## プログラム修了の認定

各研修医から申告された評価項目ならびに指導医の評価結果に基づき、卒後臨床研修プログラム委員会の承認を得て「初期臨床研修修了証明書」を交付する。

### 研修医の待遇

身分：常勤職員

給与：1年次月額 408,600円 2年次月額 433,600円

賞与：1年次 727,888円 2年次 1,351,740円（平成20年度実績）

副直手当：1回 15,000円（月平均3回）

当直手当：1回 23,000円（月平均3回）

時間外：有

休日手当：有

宿舎：有（病院併設）一部負担あり

研修医室：有

社会保険：有

健康管理：健康診断（年2回）

医師賠償責任保険：病院において加入する。個人加入は任意。

各種手当：学会、研究会への参加費、医師手当、その他手当支給有

勤務時間：原則として午前8時30分～午後5時（土曜日は午後12時30分）

その他休暇等の勤務条件は、当会の就業規則による。

### 試験日・選考方法

#### 試験日

第1回 平成22年8月 4日（水）

第2回 平成22年8月18日（水）

第3回 平成22年8月25日（水）

申込締切日は、試験日の7日前

#### 選考方法

面接、小論文（テーマはEメール等で通知しますので、担当者（24ページに記載）に連絡して下さい。また、提出期限は申込締切日と同じです。）

### 病院見学

随時受付しております。病院のホームページよりお申し込み下さい。

### 専門研修

白河厚生総合病院後期研修は、2年間の初期研修を修了した医師または修了見込みの医師を対象とする。

後期研修医採用試験を行い、採用後は正職員として扱う。内科系あるいは外科系専門科コースなどに分かれ、各科専門医（あるいは認定医）の取得が可能である。

各大学の後期研修プログラムとの整合性に充分配慮する。（詳細は別刷）

## 平成23年度 初期臨床研修医募集要項

白河厚生総合病院は平成23年度初期臨床研修医を下記により募集します。

- |                       |   |                    |   |                    |          |                       |  |  |          |  |  |
|-----------------------|---|--------------------|---|--------------------|----------|-----------------------|--|--|----------|--|--|
| 1. 募 集 人 数            | 6名  |                    |   |                    |          |                       |  |  |          |  |  |
| 2. 応 募 資 格            | <p>次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 医師免許取得者で大学卒業後2年以内の者</p> <p>(2) 平成23年3月大学卒業見込みの者で平成23年3月医師国家試験合格見込みの者</p>   |                    |   |                    |          |                       |  |  |          |  |  |
| 3. 申 込 手 続            | <p>提出書類</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">ア. 研修申込書</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">ホームページより<br/>ダウンロード</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">イ. 履 歴 書</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">ウ. 医師免許証の写又は大学卒業見込証明書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">エ. 小 論 文</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | ア. 研修申込書           | } | ホームページより<br>ダウンロード | イ. 履 歴 書 | ウ. 医師免許証の写又は大学卒業見込証明書 |  |  | エ. 小 論 文 |  |  |
| ア. 研修申込書              | }   | ホームページより<br>ダウンロード |   |                    |          |                       |  |  |          |  |  |
| イ. 履 歴 書              |   |                    |   |                    |          |                       |  |  |          |  |  |
| ウ. 医師免許証の写又は大学卒業見込証明書 |   |                    |   |                    |          |                       |  |  |          |  |  |
| エ. 小 論 文              |   |                    |   |                    |          |                       |  |  |          |  |  |
| 4. 送 り 先              | <p>〒961 - 0005 福島県白河市豊地上弥次郎2番地1</p> <p>白河厚生総合病院 総務課</p>   |                    |   |                    |          |                       |  |  |          |  |  |
| 5. 選考方法・試験日           | <p>選考方法：面 接、小 論 文</p> <p>申込期限：</p> <p>試 験 日：</p> <p style="margin-left: 100px;">} 2ページの「 試験日・選考方法」参照</p>  |                    |   |                    |          |                       |  |  |          |  |  |

**【資料請求先】**

〒961 - 0005 福島県白河市豊地上弥次郎2番地1

福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院

担当：総務課 鈴木、本田

(研修内容についての問い合わせ：卒後臨床研修プログラム委員長 斎藤、副委員長 岡本)

T E L 0248 - 22 - 2211

E-mail soumu5@shirakawa.ne.jp

(病院見学・実習申込はホームページから申し込んで下さい。)

ホームページ <http://www.shirakawa-kosei.jp>




## 当院までの アクセス MAP

### ■ 電車でお越しの方

- JR白河駅よりタクシーで約5分
- JR新白河駅よりタクシーで約10分

### ■ お車でお越しの方

- 東北自動車道 白河インターから約10分
- 東北自動車道 矢吹インターから約15分
- 東北自動車道 白河中央スマートIC (ETC専用) から約1分

 福島県厚生農業協同組合連合会

## 白河厚生総合病院

〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎2番地1  
 TEL 0248-22-2211(代表) FAX 0248-22-2218  
 URL <http://www.shirakawa-kosei.jp>